

## 地誌 第28回「ロシア地誌① -ロシアの生活・極東- 」

○今回のポイント

ロシアはソ連崩壊の混乱を乗り越え、資源を武器に経済が復活。  
極東ロシアの開発を進め、日本との関係が注目される！！

1. ロシアに住む人々の生活 (教科書 p.228～)

### 多民族からなるロシア

○面積…世界一広い(1709万km<sup>2</sup>)、日本の約45倍

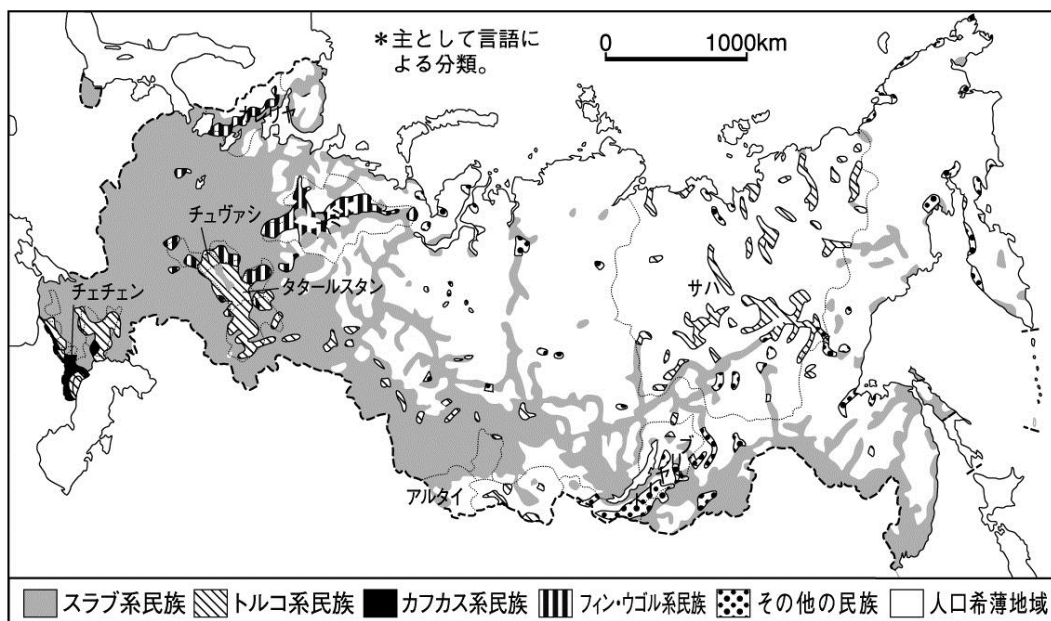
○地域区分

- ・ [① ヨーロッパロシア] …ウラル山脈以西
- ・ [② シベリア] …ウラル山脈以東
- ・ [③ 極東ロシア] …サハ共和国とアムール州から東側の極東連邦管区

○ロシアの民族構成(人口約[④ 1.4]億人)

- ・ 全人口の約80%…ロシア人、ロシア語をはなす、宗教は[⑤ ロシア正教]、ウラル山脈以西に住む
- ・ 少数民族…[⑥ 極東ロシア]に多い  
⇒ [⑦ ナナイ人] : 顔つきが日本人に似る。サケやマスをとり、保存食を発達。日本の生活と共通点。

### ロシアの民族分布



### 経済と生活の混乱をこえて

○1980年代末～90年代はじめ

- ・ [⑧ 計画] 経済から [⑨ 市場] 経済に急激に転換  
⇒ 経済と社会は混乱。国民の多くは通貨価値の下落と生活物資の不足に苦しむ。
- ・ [⑩ 貧富の差] 拡大…大きな富を手に入れる者が現れる一方で、年金生活者は厳しい生活を強いられる。

○1990年代末～

- ・ 経済的混乱がおさまり、欧米諸国などからの投資が増加 ⇒ 国内産業の発達
- ・ 携帯電話、欧米のファッション、ショッピングモールの増加
- ・ 地域間格差… [⑪ モスクワ] などヨーロッパロシアの大都市に比べ、極東ロシアを含む他地域は経済発展など大幅な遅れ。

## ソ連の解体とロシアの成立

○1922年 [12] ソビエト社会主義共和国連邦 ] 成立 ⇒ 世界最初の社会主義国

- ・遅れた農業国から [13] 重化学工業 ] 国に転身。 経済発展。 強大な軍事力を保持。
- ・一党支配のもとで社会が硬直化。 [14] 生産意欲 ] と効率の低下が顕著。
- ・軍事技術の重工業は発達。 食料、消費財の供給は不十分。

○1980年代半ば以降

- ・ [15] ペレストロイカ ] (改革) と [16] グラスノスチ ] (情報公開)

⇒ 計画経済から市場経済へ。 軍事費を抑制

⇒ 国のまとまりが弱体化、91年 [17] バルト三国 ] (エストニア・ラトビア・リトアニア) 独立を契機に崩壊

○ [18] ロシア連邦 ] …民主化と経済再建。 資本や技術の導入。

- ・ 8 連邦管区 - 83 連邦構成主体 (州・地方・共和国・自治州・自治管区)
- ・ 共和国や自治州を理念として強い自治権。 共和国の半数は大統領制で憲法を持つ。

## 2. 極東ロシアと私たち (教科書 p.230~)

### 環日本海の交流に向けて

ソ連の崩壊



日本と極東ロシア間の交流が深まりつつある



☆ [19] 環日本海経済圏 ] ☆

極東ロシアの資源、日本と韓国の資本と技術、中国東北部・北朝鮮の労働力を補完的に結び付ける



☆ [20] 日ロ首脳会談 ] (2003) ☆

- ・ コンゴの極東ロシアの経済開発をめぐり協力していくことが合意
- ・ 北方領土問題の解決など難問も残る。

### 極東ロシアの経済を支える資源

(1) ロシアの気候

a. 寒冷な [21] 亜寒帯気候 ] がほとんど。 特に極東ロシアでは冬の寒さが厳しい。

b. 北極海に面した地帯は [22] ツンドラ ] (ET) で寒帯。

(2) 資源

a. [23] タイガ ] …針葉樹林 (木材輸出世界一)

b. 鉱産、林産、水産など天然資源の宝庫

c. [25] 天然ガス ] (2009年以降、サハリン東宝の大陸棚産が日本に輸出される。パイプライン計画も進行)

- ・ [24] シベリア鉄道 ]
- ・ バム (バイカル・アムール鉄道) 鉄道
- ・ 川や海の舟運 (しゅううん)

※ [26] パイプライン ] をめぐる権益闘争※

- ・ 東シベリアの原油を東アジアに輸送するパイプラインは、 [27] アンガルスク ] まで完成
- ・ 中国ルートと太平洋ルートの 2 案があり、日中両国の綱引きが行われる。